

北小植物歳時記

ク　　ズ

クズは雑草として駆除されることが多い植物です。嫌われる原因としては、いろんなものにまとわりつく蔓が挙げられるでしょう。蔓は10m以上伸び、いろんな所で根を下ろし繁殖力が高いのもいやがられる原因だと思います。



しかし、花は紫色の穂状で甘い香りを発します。

万葉の昔から歌われてもいますし、秋の七草のひとつとしても数えられている植物です。また、根からは葛粉や漢方薬が作られるなど、人間の生活と密着した植物でもあります。

「真葛原(まぐずはら)、靡(なび)く秋風、吹くごとに、阿太の大野の、萩の花散る」

万葉集には、上記のような五條の地を詠んだこの歌が有名です。

ちなみに、秋の七草とは、萩、薄(ススキ)、葛、撫子、女郎花(オミナエシ)、藤袴、桔梗で、山上憶良が詠んだ歌がもとになっています。「秋の野に 咲きたる花を 指折り かき数ふれば 七種(ななくさ)の花 萩の花 尾花葛花 撫子の花 女郎花 また藤袴 朝貌(あさがお)の花」ここで言う朝貌は朝顔でなく、桔梗であるとの説が定説となっています。